

福岡大学病院で実施されている人を対象とする医学系研究に関する情報公開

整理番号

16-3-08

研究課題名

皮膚硬化性付属器腫瘍におけるlaminin5 γ 2発現の検討

研究責任者

病理学

教授

鍋島 一樹

試料・情報の利用目的・方法

Laminin5は基底膜の主要構成成分で、 $\alpha 3 / \beta 3 / \gamma 2$ の三鎖からなる糖蛋白です。 $\gamma 2$ 鎖には、細胞遊走の亢進作用があることが知られており、悪性細胞の浸潤マーカーと考えられています。様々な癌において浸潤先端部でのlaminin5 $\gamma 2$ 鎖(L5 $\gamma 2$)の発現と腫瘍細胞浸潤への関連が報告されています。我々はL5 $\gamma 2$ 発現が皮膚悪性腫瘍の基底細胞癌(BCC)と良性の毛芽腫(TB)の病理学的鑑別に有用であることを報告してきました。BCCの亜型であるmorpheaform BCCは、腫瘍胞巣周囲に硬化性間質を伴う硬化性毛包上皮腫(DTE)、微小嚢胞性付属器癌(MAC)とあわせて硬化性付属器腫瘍と呼ばれ、病理組織学的鑑別が困難であることが多いです。今回、硬化性皮膚付属器腫瘍におけるL5 $\gamma 2$ の発現を中心に検討します。

研究期間： 開始日

病院長許可日

～

2018/3/31

(予定終了日)

試料・情報の項目

皮膚腫瘍切除標本病理組織、検査データ、診療録

試料・情報の管理責任者

研究責任者：鍋島 一樹

利用する者の範囲

研究責任者及び研究責任者が指名した研究者(福岡大学内)

他の研究機関への試料・情報の提供先：

※ 研究対象者又はその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用又は他の研究機関への提供を停止しますので、下記へご連絡ください。

連絡先： 鍋島 一樹

電話番号：福岡大学病院(代表)092-801-1011

福岡大学病院 病院長